

◆ 当グループの基本理念

【躍動するスポーツ都市東京に向け、当グループが目指す東京辰巳国際水泳場】

- ・本施設は、東京都のみならず日本の水泳の中心的・象徴的施設として、世界大会や日本選手権等の大会が開催されるアスリート羨望の施設であり、区市町村レベルとは異なる役割を果たしていく広域的・先導的な拠点です。
- ・当グループは、この特性を活かし、スポーツ実施率を向上させ生涯スポーツの振興を図るとともに、競技力の向上を図ることを、運営上の両輪と考えています。
- ・以上を踏まえ、当グループは、「躍動するスポーツ都市東京」の実現に向け、魅力ある大規模大会の誘致とともに、都出身のトップアスリートの育成・強化等、競技力向上や障害者スポーツの振興を図り、都民ニーズの将来展望を見据えた、新しい「辰巳」を目指します。

◆ 基本方針

- ・当グループは下記の7つの基本方針のもと、本施設において、今までにない新しい取り組みを行ってまいります。

- 1 東京都における水泳の中心的・象徴的施設にふさわしいスポーツ振興事業の展開
- 2 東京都のスポーツ施設の連携ならびに施策や方針への全面協力
- 3 公の施設としての公平性及び公益性に配慮した運営と利用調整
- 4 利用者の安全確保を最優先に、安心して快適な施設環境の維持管理
- 5 地球環境に配慮した施設づくり
- 6 魅力ある施設づくりと利用者に対するサービスの向上
- 7 大規模改修への協力

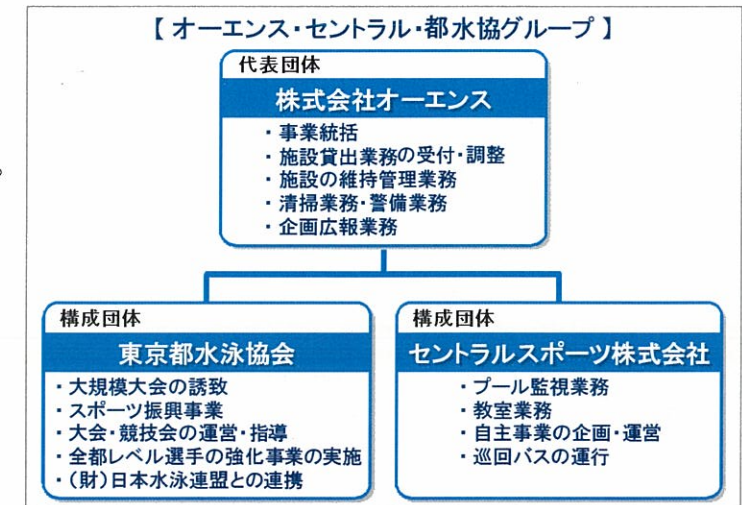
【新しい「辰巳」での具体的な取組内容】

No.	カテゴリー	取組内容
1	生涯スポーツの振興	都のスポーツ施設間の連携による都民への情報発信
2	生涯スポーツの振興	優れた指導者とサービスメニューによるスポーツ実施率の向上
3	安心して快適な施設	水質管理の徹底、駅までのルートでの夜間巡回警備の強化
4	都の施策へ全面協力	国体や全国障害者スポーツ大会等の円滑な開催への全面協力
5	都の施策へ全面協力	スポーツ専門職による都の施策に沿った適切な運営アドバイス
6	環境への配慮	現在未使用部分を「辰巳エコパーク(仮称)」としてリニューアル
7	利用者サービス向上	利用時間の延長と休館日の短縮による利用機会の増大
8	利用者サービス向上	元旦初泳ぎ及び期間限定キャンペーンの実施
9	大規模大会の誘致	(財)日本水泳連盟等との連携のもと、魅力ある大規模大会の誘致
10	競技力向上	東京都出身のトップアスリート及び指導者の育成・強化事業の実施
～ 日の丸・都旗の掲揚、ならびに開館・閉館時に東京都歌を全館に放送します ～		

◆ 事業スキーム

【施策の実現のため、ビジョンの合致した最適メンバーによる業務の実施】

- ・当グループは、本事業の推進に最適なメンバーとして、ビジョンの合致した公共的セクターと民間セクターの3団体によって構成されています。
- ・特に、都の水泳界を統括・代表する東京都水泳協会が参画することにより、日頃の活動を通して、大会運営、事業の実施、及び一般公開において、それぞれの立場の要望や意見を反映した、調和のとれた施設利用を可能とします。
- ・また、優れた実績のある指導者を数多く有していることから、トップアスリートの育成・強化など、都の施策の実現に効果的に寄与してまいります。
- ・各団体は、東京都スポーツ振興基本計画に沿って、公共性を担保しつつ、利用者ニーズに適應できる高品質の公共サービスを提供するため、それぞれの役割分担に基づき業務を実施します。



◆ 施設の提供

【料金設定】

- ・「東京都体育施設条例」及び「東京都体育施設条例施行規則」に基づいて設定を行うとともに、円滑な移行や現在利用されている方々を考慮し、現行の料金体系を継続します。また、一般開放時間帯における利用時間の制限についても設けません。
- ・教室料金については、入会金や事務手数料等を設けず、かつ1回当たりの料金が明確な料金設定を行うことにより、気軽に参加し、継続していただけるものとする。

【団体利用】

- ・事前に申請を行い、本施設の利用基準の遵守や安全確保など条件を満たした団体に対しては、1コースより時間貸し出しを行います。

◆ 休館日・開場時間の設定

- ・休館日は、現在より5日減らし利用機会の拡大を図ります。また、休館日に施設メンテナンスやスタッフ研修を実施し、有効活用することで、利用者が快適で安心して利用できるように努めます。

提案休館日	定期休館日		臨時休館日	
	年末年始	設備等の整備日	※協議の上決定	
	12月31日から 1月2日まで(元旦は除く)	毎月第3月曜日。ただし、その日が休日の場合は、その翌日に設定	月1回	年2回

休館日の設定

- ・土曜日の施設利用時間を、平日と同様に22:00まで延長するとともに、1月1日は臨時開業し、無料にて元旦初泳ぎを楽しんでいただきます。

曜日	開場時間	施設利用時間	閉場時間
平日・土曜日	8:45	9:00~22:00	22:30
日曜日・祝日	8:45	9:00~20:50	21:30
元旦	9:30	10:00~16:00	16:30

開場時間の設定

◆ 館の事業に関する業務

【スポーツ振興事業】

- ・「スポーツ・フォア・オール」の実現を目指し、生涯を通じたスポーツの振興や競技力向上、スポーツ環境の整備を推進し、都民のスポーツ実施率向上に貢献します。
- ・各構成団体や、(社)東京都障害者スポーツ協会等と連携し、アスリートや指導者の育成を支援するとともに、障害者スポーツの発展や育成強化に寄与します。



障害者大会の開催

□ 主な事業① スイムスキルアップ事業

- ・水泳愛好者や競技志向者を対象に、水中の3方向からのスイムフォームを撮影し、画面でのフォームチェックや改善、トレーニング方法などを指導します(ダイビングプールでの開催を予定)。



泳法等の指導・アドバイス

□ 主な事業② 初心者シンクロナイズドスイミング

- ・シンクロナイズドスイミングの基本動作・技術を習得する機会を提供することにより、シンクロを始めるきっかけづくりや継続していく意欲を高めていきます。

□ 主な事業③ 障害者水泳入門・障害者水泳ボランティア講座

- ・障害をお持ちの方に水に親しむ楽しさを知っていただく機会を提供する、水泳入門教室を開催します。
- ・また、障害者に対するより多くのマンパワーの必要性から、ボランティアを養成する講座も開催します。

【自主事業の実施】

- ・セントラルスポーツ(株)のもつ安全で安心のプログラムを提供し、利用者ニーズに応じ誰もが気軽に参加できるように努めるとともに、生涯スポーツの裾広がりを支援します。
- ・水泳に親しみを持っていただくために、幅広いニーズに合わせた魅力的な教室を展開し、さまざまなイベントを実施し、スポーツに関する興味を喚起するとともに、情報を発信します。



安全・安心で、かつ効果的なプログラムの提供

□ 主な事業① マタニティスイミング

- ・妊婦がスイミングを通して、水泳に親しみ、仲間づくりを行うことによって快適なマタニティライフを送ることができる機会を提供します(対象：妊娠第16週以降の方)。

□ 主な事業② ベビースイミングスクール

- ・負担の少ない水中運動を通じて、乳幼児の心身の発達を促すとともに、親子間のスキンシップを図る機会を提供します(対象：生後6ヶ月～3歳未満と保護者)。



ベビースイミング教室

□ 主な事業③ 生活習慣病予防スイミング

- ・中・高齢者の運動不足からくる、生活習慣病予防を目的とした、水中運動のコースを開設します(対象：成人男女)。

【スポーツ情報提供コーナーの設置】

- ・スポーツについてのVTR放送や関連書籍・雑誌・ビデオを設置した情報提供コーナーを設置し、利用者に対して競技に対する理解を深めてもらえるよう努めます。
- ・書籍等は適切に管理し、記録に残すとともに、利用者からの質問に対しては迅速に対応します。
- ・TOKYO体操のVTRを放送し、普及に努めます。
- ・世界競技大会等や国体等のタイムリーな情報を配信します。

【広報】

- ・WEBやコミュニティペーパーなどさまざまな媒体を活用し、本施設の案内や詳細な情報を提供し、施設の魅力を高め、利用促進を図る効果的な活動を実施します。
- ・都と連携を図りホームページや独自の広報誌を使用して、タイムリーな情報を提供することで利用者の利便性を高め、スポーツ振興への取組みを推進します。

【業務の品質管理】

- ・多様な方法で利用者等のニーズを把握するとともに、継続的な業務改善に反映させます。
- ・日常、定期、随時のモニタリングを実施して、利用者ニーズの把握と業務の履行状況の確認を行い、要求水準を満足することはもとより、安定した質の高いサービスの提供に努めます。
- ・第三者モニタリングや利用者懇談会など、業務改善内容を検証する仕組みを構築します。

把握するための方法	取組内容
① モニタリングの実施	・モニタリングを実施し、利用者の要望・苦情を把握します。
② アンケートBOXの設置	・施設内にアンケートBOXを設置し、利用者の要望・苦情を収集します。
③ 日報・月報の活用	・スタッフに直接伝えられたニーズ等について、日報を使用し収集します。
④ 利用者満足度調査の実施	・利用者満足度調査を実施し、潜在化している利用者のニーズを把握します。

利用者等のニーズや要望を把握するための方法

◆ 館の管理に関する業務等

【設備及び物品の保守管理・施設の修繕】

- ・ライフサイクルマネジメントの考えを取り入れ、本施設を把握した最適な管理により施設性能の最適化とライフサイクルコスト(LCC)縮減を図ります。
- ・業務マニュアルや点検チェックシートを作成し、年間業務計画に基づいた業務を実施します。また、情報のデータベース管理により、PDCAサイクルを用いた継続的な業務改善を行います。
- ・当グループが持つ実績やノウハウを活用し、「劣化診断調査」や「中長期修繕計画の立案」を行い、本施設の長寿命化と施設機能の最適化を図ります。

【個人情報の保護】

- ・関係法令を遵守し、プライバシーマークに基づく運営とリスクマネジメント体制を構築します。
- ・マニュアルの整備やスタッフから誓約書の提出を求める取組を行い、個人情報漏えい保険に加入します。